



# やまこし

2001  
11月  
第400号



広報やまこし

2001  
11月  
第400号

●発行/山古志村役場

〒947-0204 新潟県山古志村大字竹沢乙四六一

電話(0258)591-1111  
FAX(0258)591-1111

●編集/総務課 ●印刷/大川印刷株式会社

11月村民カレンダー		あまやち 会館宿泊 予約状況
1(木)		
2(金)		×
3(土)	文化の日 ・産業まつり(役場前広場) ・牛の角突き(池谷会場) ・村民文化展 午前9:00~ 村民会館	×
4(日)		
5(月)	・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
6(火)	・健康体操と民謡の集い 午後1:30~ 村民体育館 ・年金定例相談日 村民相談室 ・心配ごと相談 午後1:00~4:00なごみ苑 ・配食サービス 資源ごみ(ペットボトル)	
7(水)	・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
8(木)	・銀婚式講座 午後7:30~ 村民体育館 ・フッ素塗布 歯科診療所 資源ごみ(空缶・空ビン)	
9(金)	・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
10(土)		
11(日)	・第6回そば祭り 村民会館 ・ほのほのファミリーハイキング	
12(月)	・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
13(火)	・健康体操と民謡の集い 午後1:30~ 村民体育館 ・心配ごと相談 午後1:00~4:00なごみ苑 資源ごみ(容器包装プラスチック類)	
14(水)	・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
15(木)	・銀婚式講座 午後7:10~ 村民体育館	
16(金)	・すくすくチャイルドの会 ・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
17(土)		×
18(日)		
19(月)	・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
20(火)	・健康体操と民謡の集い 午後1:30~ 村民体育館 ・心配ごと相談 午後1:00~4:00なごみ苑 ・配食サービス 埋立ごみ(埋立プラスチック類)	
21(水)	・混成バレーボール大会 午後8:00~ 村民体育館	
22(木)	埋立ごみ(金属・ガラス陶器類・不燃粗大)	
23(金)	勤労感謝の日 ・銀婚式記念パーティー 午後1:00~ 村民会館	
24(土)		
25(日)		
26(月)	資源ごみ(容器包装プラスチック類)	
27(火)	・健康体操と民謡の集い 午後1:30~ 村民体育館 ・スポーツ少年団スキー部団結式 午後17:00~ 村民体育館 ・心配ごと相談 午後1:00~4:00なごみ苑	
28(水)	・エアロビクス教室 午後8:00~ 村民体育館	
29(木)		
30(金)		

あまやち会館宿泊予約状況(10月18日現在) 毎週火曜定休日  
×満員です △早めに予約を 空欄は利用できます。

## はなつたつてアイドル

優太ちゃん

平成11年4月11日生まれ 一虫 亀一  
金子 幸弘・愛子さん

僕、優太。8月から保育園に行ってるんだ。初めての運動会もこの通り、余裕さ!雪が降ったら今度はスキーだ。楽しみだね。

## 第6回 山古志 そばまつり

とき 平成13年11月11日(日)  
ところ 山古志村民会館  
参加費 大人お一人様2,000円  
(小学生以下無料)

11月11日
10:00~ 参加者受付
10:30~ 「そば打ち」 体験(希望者のみ)
12:30~ 試食会
14:00~ 閉会

お問い合わせ・お申込みは  
山古志村役場 産業課 TEL 0258-59-2330  
FAX 0258-59-2032  
主催 山古志村 種芋原下村営農集団



### 芸術の秋

「あまやち伝説」公演  
↓  
保育所・老人クラブ  
合同運動会



### スポーツの秋

- 今月の内容
- ☆村議会定例会・臨時会 2P
  - ☆第四次総合計画 4P~5P
  - ☆400号記念特集 6P~7P
  - ☆スナップショット 8P
  - ☆お知らせ 10P~11P



# 第三回山古志村議会定例会

第三回山古志村議会定例会が九月十四日から二十六日までの十四日間の会期で開かれ、条例の改正・平成十三年年度の補正予算・平成十二年年度一般会計決算認定及び特別会計決算認定などが上程され、それぞれ可決されました。

## 一般質問(要旨)

○観光問題について  
観光事業についてであります。現在、施行されている事業は一応の成果があると思うが、今後更に発展させるためには都市と農村の交流が、重要なテーマだと思ふ。村長身が持っている今後の観光事業振興施策をお伺いしたい。

また、山古志村出身者、あるいは山古志村に関わり合う人の中には、夢や感動を与えてくれる人がいると思うが、そのような人から名譽村民になつていただき、山古志村を榮しんでもらいつつ、更に村のPRをしていただければ良いのでないか。是非ともこの点を検討していただ

きたい。

☆村長  
現時点での村の観光施策については、観光協会・公社、漁協を含む各種団体等、それぞれの立場での活動を側面支援しながら各種イベント等、村が主催する行事に協力をしていただいている。しかし、民間主導、行政支援というものが私の考える本来の観光の姿だと思ふが、なかなか体質改善がなされないでいるのが現状である。私自身、行政の責任を明確化することが体質改善の近道かとも思つている。また、産業観光の集合を図り、静の景観・動の産業観光と言ふ連携のなかで一本化を図りたいと強く感じている。いろいろな立場のひとがそれぞれの立場を理解しながら、議論を尽くし協力し合う中から、観光事業の一本化が見えてくるのではと思つている。そんな中から、村民主体の祭りが行われるとしたら、行政として財政も含めてきちんとした支援体制を取つてまいりたいと思つている。

また、村外者の件については

「山古志村ファンクラブ」というような形で村づくりの中には、非常に役に立つのでは、と考えている。

○過疎化問題について

◆現在人口は二、三七〇人余りで、合併時の半分以下にです。当然、人口の減少と共に村の財政が、政治が、行政が緊迫してきてやみやすくなつてきている。それに対して、今まで行政としていろいろな対策は講じてきたと思ふますが、ここ数年新潟県でも過疎化率ナンバーワンという、ありがたい称号をいただいている。

今後、ふるさと「山古志村」をもっと良くするために、村長として人口の減少をどのように歯止めをかけ、村を發展させていくのか基本的な考え方を伺いたい。

☆村長  
昭和三十一年の大合併当時の人口から半数以下に激減したという事実を前に大きな問題意識を持つている。歴代の村長や議会の方々やつてこられた社会資本の整備・村民福祉の向上等、主な施策の全てが、村民が住みやすく暮らしやすい目的をもつてのことだと思つています。事

## 平成十三年度補正予算

- ◆平成十三年度一般会計補正予算(第二号)  
歳入歳出それぞれ四、四〇〇万円追加し、総額二億六、二〇〇万円と定められた。  
主な内容は、手掘り隧道振興事業費(中山隧道記録映画製作補助金・隧道文化基金設立金等)の新設、古志高原スキー場の管理運営委託料の追加などです。
- ◆山古志村国民健康保険特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出それぞれ七十七万一千円追加し、総額一億八、七七万一千円と定められた。
- ◆山古志村診療所特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出それぞれ一四六万一千円追加し、総額一億三、五四万一千円と定められた。
- ◆山古志村簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)  
歳入歳出それぞれ二万六千円を追加し、総額七億二、四四万二千円と定められた。
- ◆山古志村介護保険特別会計補正予算(第二号)  
歳入歳出それぞれ一六四万円を追加し、総額二億一、二一九万七千円と定められた。

## 議決

◆専決処分をした事件の報告

## 条例

- ◆山古志村税条例の一部改正
- ◆山古志村乳児の医療費助成に関する条例の一部改正
- ◆山古志村幼児の医療費助成に関する条例の一部改正

## 平成十二年度決算認定

- 山古志村一般会計歳入歳出決算
- 山古志村国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 山古志村診療所特別会計歳入歳出決算
- 山古志村老人保健特別会計歳入歳出決算
- 山古志村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- 山古志村特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算
- 山古志村介護保険特別会計歳入歳出決算

※なお、決算の詳細は十二月号に掲載いたします。

## 同意

◎山古志村教育委員会委員の任命同意について  
松井靖博さん(木籠)の任命に同意されました。



## 第五回山古志村議会臨時会

第五回山古志村議会臨時会が十月十五日に招集され、議案一件が可決されました。

## 議決

▼古志高原リフト株式会社に係る村出資金の権利放棄について

## 教育委員長に五十嵐正作さん

小川金男教育委員長が、十月四日の任期満了に伴いご勇退されました。  
これにより、十月五日に臨時教育委員会が開かれ、委員長選挙が行われました。そこで全教育委員の推薦により、五十嵐正作さん(虫籠)が新しい教育委員長に選出されました。  
五十嵐さんは、平成五年から教育委員を務められています。



## コンピューター健康診断をおねがいします。

昨年に引続き、コンピューター健康診断を実施します。  
なによりも大切な、あなたの「健康」を守るために、日常生活を振り返ってみましょう。正確に記入して、役に立つアドバイスを受けて下さい。個人の回答が、他の人に見られたり、他の目的に使用されることはありません。ご協力をお願いします。

○対象者 平成十三年十月一日現在 三十才以上六十五才未満の全村民

○調査方法 地区の保健推進員が調査票を配布します。

- ・健康に関する簡単な質問に対して、本人が、回答します。
- ・回答用紙を、調査票の封筒に入れて、封じます。
- ・保健推進員が回収します。
- ・封をしたままの状態、専門機関へ送付し、分析します。
- ・結果表が本人に届きます。

○実施時期 平成十三年十月二十九日から

問い合わせ先 村民課村民係 ☎59-2332





# 第四次総合計画

今月号は、「第一部・基本計画、第二章・生活環境整備」の続きと「第三章・福祉・保健・医療」です。

## 第八節 防災・消防・救急

### 〈現況と課題〉

本村の大部分は傾斜地で占められており、地滑りが多く発生している。また、冬期間の雪崩等の危険発生箇所も多く、災害に強い村づくりを推進するため、施設整備も進んでいるが、まだまだ多くの箇所がある。常に危険発生箇所を把握して、事前の対策に講じておく必要がある。

消防・救急体制は、小千谷地域広域事務組合に加入し、村には出張所を配し、広域的な常備消防体制が確立された。非常消防団も団員確保が難しいなかで体制を維持している。また、簡易水道整備により消火栓を全域に設置しており、平成十六年の給水開始が待たれる。

しかし、消防団組織については、若年層の減少や通勤者の増加等により団員の確保や昼間の防災体制に問題が生じている。このため、緊急防災体制を検討しなければならない。

### 〈基本方針〉

① 災害対策の基本となる地域防災計画を整備して、常に現況に応じた対策ができる体制の整備と災害時の避難場所の指定とその周知に対する防災連絡網の整備を促進する。

② 消防組織の充実と団員確保に努め、施設の整備を進め、消防力の向上を目指す。

③ 交通事故の多発等に対する緊急業務に対応するため、関係機関との連携・協力をして救急活動体制を推進する。

### 〈基本計画〉

① 山古志村地域防災計画の見直しを行い、避難場所の指定等、住民への周知を図る。

② 消防団員の確保と自主防災組織の育成に努め、消防施設の整備を推進する。

③ 救急体制を強化し、人命確保に対応できる体制の整備に努める。

## 第九節 防犯

### 〈現況と課題〉

本村の犯罪件数は少ないが、交通事情が良くなり生活様式の都市化に伴い、犯罪の増加が心配される。このため、留守時の施錠など、地域での運動を推進する必要がある。また、青少年の非行防止を図るため村民一体となった、地域ぐるみの運動を推進する必要がある。

また、地域健康法が制定され市町村保健センターの法定化により、住民にとって身近な保健サービスは保健センターが一括してあたる方針となった。このような状況で、総合的な保健活動を展開していくために、保健センターの整備が必要である。国民健康保険の被保険者は横ばいの傾向にあるが、高齢化に伴い一人当たりの医療費の増加が予想される。医療費抑制にむけて、保健事業としての一日ドックの補助を行っているほか、正しい受信方法を啓発するなど、より医療費の適正化に努める。

### 〈基本方針〉

① 自治防犯組織の育成と防犯意識の高揚を図り、防犯運動を推進する。

② 通学・通学路の安全確保を図る。

③ 青少年健全育成村民会議、警察、学校、PTAなど関係団体との連携をはかり、青少年の非行防止に努める。

### 〈基本計画〉

① 自主防犯組織の育成、強化を図り防犯対策を推進する。

② 防犯広報による意識の啓発、消防灯の設置を推進する。

## 第三章 保健・福祉・医療

### 第一節 村民の健康づくり

#### 〈現況と課題〉

人口の高齢化、疾病構造の変化、村民の健康意識の高まりによって保健に対する需要は増加かつ多様化している。本村においては各種保健事業を展開しているが、検診内容の充実を図るとともに事後指導、健康教育等を強化していく必要がある。特に寝たきり、痴呆予防を含んだ生活習慣病予防に重点がおかれている。

また、地域健康法が制定され市町村保健センターの法定化により、住民にとって身近な保健サービスは保健センターが一括してあたる方針となった。このような状況で、総合的な保健活動を展開していくために、保健センターの整備が必要である。国民健康保険の被保険者は横ばいの傾向にあるが、高齢化に伴い一人当たりの医療費の増加が予想される。医療費抑制にむけて、保健事業としての一日ドックの補助を行っているほか、正しい受信方法を啓発するなど、より医療費の適正化に努める。

### 〈基本方針〉

① 村民の健康づくりの意識向上と、健康づくりの推進を図る。

② 高齢者や障害者が安心して生活できるように在宅療養者の支援体制を整備する。

③ 健康づくりの推進、在宅療養者の支援体制づくりを図るため保健基盤を整備する。

④ 国民健康保険財政の健全化に努める。

### 〈基本計画〉

① 保健推進員活動等を通じて村民の健康づくりの意思向上を図るとともに、主体的な地区組織活動が行えるよう支援する。

② 保健・福祉・医療機関との連携を密にし、訪問指導事業等の充実を図る。

③ 既存施設の有効利用及び適性運営を図る。

④ 養護老人ホームへの適性入所を支援する。

⑤ 地域福祉の意義と重要性について啓発し、ボランティアの確保と育成を図る。また、福祉マンパワーの育成と確保、そして、福祉団体の活動を支援する。

② 生活習慣病予防を中心に検診内容の充実と努め、生活改善ができるよう事後指導、健康教育等を強化する。

③ 若年の難病者や身体障害者の機能訓練や、虚弱高齢者の地域のお茶飲み場「いきいき会」の充実とボランティアの育成等の体制を整えて行く。また、精神・知的・身体障害者の交流や情報交換の場づくりの準備を始め、社会復帰に向けて支援する。そして、在宅療養者が安心して生活できるように、医療・福祉関係者との連携を図る。

④ 健康づくり運動の推進、在宅療養者支援体制づくり等の拠点となる保健センターを整備し、生活習慣病予防等の適切な栄養指導ができるよう栄養士を配置する。

⑤ 医療費抑制に向けて、一日ドックやコンピュータ健康診査等の保健事業の充実を図り、正しい受信法を啓発するなど医療費の適正化に努める。

### 〈基本方針〉

① 保健推進員活動等を通じて村民の健康づくりの意思向上を図るとともに、主体的な地区組織活動が行えるよう支援する。

② 保健・福祉・医療機関との連携を密にし、訪問指導事業等の充実を図る。

③ 既存施設の有効利用及び適性運営を図る。

④ 養護老人ホームへの適性入所を支援する。

⑤ 地域福祉の意義と重要性について啓発し、ボランティアの確保と育成を図る。また、福祉マンパワーの育成と確保、そして、福祉団体の活動を支援する。

### 〈基本計画〉

① 村の実情に応じて、要介護者や単身高齢者に対し、住宅改修や除雪対策等の福祉サービスを提供し、安心して生活していくことを支援する。

② 保健・福祉・医療機関との連携を密にし、訪問指導事業等の充実を図る。

③ 既存施設の有効利用及び適性運営を図る。

④ 養護老人ホームへの適性入所を支援する。

⑤ 地域福祉の意義と重要性について啓発し、ボランティアの確保と育成を図る。また、福祉マンパワーの育成と確保、そして、福祉団体の活動を支援する。

### 〈基本方針〉

① 障害の発生前防と早期発見に努め、早期療育と機能回復対策を推進する。

② 在宅サービスの充実を図り、障害者の自立、社会参加の促進を図り、支援する。

③ 障害の発生前防と早期発見に努め、早期療育と機能回復対策を推進する。

④ 在宅サービスの充実を図り、障害者の自立、社会参加の促進を図り、支援する。

### 〈基本計画〉

① 障害の発生前防と早期発見に努め、早期療育と機能回復対策を推進する。

② 在宅サービスの充実を図り、障害者の自立、社会参加の促進を図り、支援する。

③ 障害の発生前防と早期発見に努め、早期療育と機能回復対策を推進する。

④ 在宅サービスの充実を図り、障害者の自立、社会参加の促進を図り、支援する。

### 〈現況と課題〉

母子（父子）福祉は母子（父子）世帯となった原因を見ると、最近離婚によるものが目立っている。これらの家庭は常に社会的、精神的、経済的自立に努力している。共感的な支援の施策が必要である。



# 広報やまこし 創刊四〇〇号記念特集

「広報やまこし」第一号が昭和四十三年五月に創刊してから今月号で四〇〇号になりました。村民と村政を結ぶパイプ役として、十分に役割を果たしているかどうか不安ですが、皆さんのご協力により三十三年半の年月が経過しました。



第一号 昭和四十三年五月一日



第一〇〇号 昭和五十一年一〇月一日



第二〇〇号 昭和六十一年二月一日



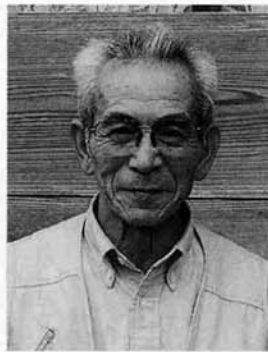
第三〇〇号 平成五年七月一日

これからも、村民の皆さんに「読まれ、親しまれる」広報紙づくりに務めてまいりたいと思っております。村民の皆さんからの、ご意見・ご協力をよろしく願います。



第一号の編集担当者の  
佐藤誠一さん(竹沢)

広報やまこしが四〇〇号に達したことに、創刊から四九号までの編集をさせてもらった者として感慨がひとしおです。タブロイド判の裏表二頁の発行に毎月往生した記憶がよみがえってきます。本誌が広聴活動と相まって、住民と行政を結ぶ「かけ橋」としていつそう親しみやすく、充実されることを願っています。



第一〇〇号の編集担当者の  
小川喜八郎さん(種学原)

広報やまこしが今月号で四〇〇号となりました。代々の担当者の努力に感謝します。私も三十余年前広報担当でありました。記事や写真など苦勞もありましたが、どちらと言えれば楽しい思い出の方が多くありました。広報の一頁、一頁には村の歴史であるとの思いでやってきました。情報化時代と言われる今日、これからも村民に期待される広報を願っております。

# 広報紙でみた村の歩み

掲載年月日	記事
昭和四十三年 五月	広報やまこし第一号発刊
四十四年一〇月	第一回総合レク(会場 竹沢)
四十五年一月	県道小千谷―栃尾線開通
四十六年二月	山古志中学校校舎完成
四十七年二月	種学原保育所完成
四十八年二月	県政現地懇談会
四十九年一月	山古志音頭レコード化
五〇年七月	池谷闘牛場オープン
五一年四月	第一回民俗芸能発表会
一〇月	第一〇〇号発刊
五二年四月	芹坪小・梶木小、閉校式
一二月	第一回産業まつり
五三年五月	種学原―長岡・梶金―小千谷バス開通
五四年一月	錦鯉センター完成
五五年五月	虫亀地区内で大地すべり・被害総額六億円
五六年二月	五六豪雪・一月二二日積雪・四・六九m
五七年六月	山古志村のシンボル・村章の制定
五八年八月	種学原バドミントン少年団発足
五九年七月	スポーツ広場の造成工事始まる
一二月	役場新庁舎・村民会館業務開始
六〇年二月	不燃ごみ収集始まる
一〇月	第一〇〇号発刊
六〇年四月	農改普及所山古志支所、三十六年余りの幕を閉じる
六一年一月	村史「通史編」発刊
六一年六月	全小学校で複式学級
一〇月	村の木「ぶな」・村の花「はぎ」に決定
六三年五月	第一回古志の火まつり
七月	池谷闘牛場全面改装工事完了

平成 元年	四月	地籍調査(国土調査)事業開始
二年 七月	錦鯉ゆうパック出発式	
二年 一月	古志高原スキー場オープン	
三年 八月	交通死亡事故ゼロ五、〇〇〇日達成記念大会	
四年 四月	種学原中学校閉校式	
四年 二月	やまこし方言集完成	
五年 五月	第三次総合計画策定	
七月	第三〇〇号発刊	
一〇月	あまやち会館オープン	
六年 四月	羽黒歩道トンネル完成	
七月	二一年ぶりの干ばつ・対策本部を設置	
九月	山古志中男子バレー部、県通学校選抜体育大会準優勝・北神越大会出場	
七年 四月	広報やまこしA4サイズに	
五月八年	虫亀地区簡易水道給水開始	
七月	第二四回中越地方植樹祭開催(四季の里・古志)	
九年 六月	立村四〇周年、村民体育館・地域福祉センター竣工記念式典挙行	
一〇年 四月	ゴミの分別収集開始	
五月	関克史さん、ボクシング全国選抜大会バンナム級優勝	
一二月	移動通信用鉄塔完成・携帯電話使用可能に	
一一年 一月	国道二九一号、中山トンネル開通	
五月	介護保険開始	
一〇月	中山隧道ワーキングショップ開催	
一二年 三月	中山隧道シンポジウム開催	
四月	村内五小学校閉校式	
五月	山古志小学校閉校式	
一一月	劇団「古志」第一回公演・「あまやち伝説」	
一六月	第四次総合計画策定	
一一月	第四〇〇号発刊	



みんなでがんばるぞ!!

十月十日(水)に竹沢・種李原保育所、老人クラブ連合会の合同大運動会が村民体育館で行われました。



おじいちゃん、はやくー!

園児たちは、日頃練習してきた「昆虫行進曲」などのお遊戯を披露したり、お父さんやお母さん、そしておじいちゃんやおばあちゃんといっしょに、「ゴーゴー電車」や「オセロゲーム」など、精一杯がんばっていました。

長岡市から参加した女性は、「初めて参加しました。孫のがはばってる姿を見ることができて、とっても良かったです。こういったことは、都会ではなかなか見られないですね。」と楽しんでいました。

なかできないことで、山古志村だからできることだと思います。本当にいいですね。」と楽しんでいました。

西川に錦鯉放流

九月二十二日(土)に新潟市内を流れる西川に、錦鯉が放流されました。昭和六十二年に第一回の放流が行われてから、現在まで新潟市坂井輪地区との交流が続けられています。山古志村からは小学六年生十七名が参加し、西川がきれいになるようにと願って錦鯉を放流しました。



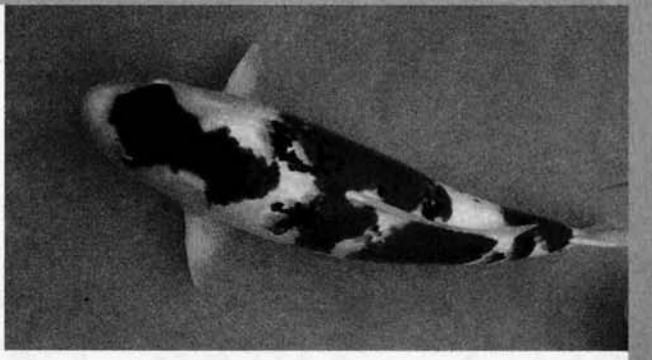
劇団「古志」第二回公演

九月三十日(日)に劇団「古志」による「あまやち伝説」が池谷闘牛場で公演されました。昨年と同様に、闘牛場の場内に舞台を作りブナ林を背景にして演じられました。今年は新たに、山古志村の方言がふんだんに盛り込まれた場面が加えられて、前回の公演とは一味違った、とても素晴らしいものでした。少し雨が降りましたが、観客は最後まで席を立たずに、目の前の舞台で繰り広げられる劇を楽しんで見ていました。



総合優勝は五十嵐養鯉場さん

山古志総合錦鯉品評会が十月二十一日(日)に錦鯉総合センターで行われました。今年は一〇四尾が出品され、一五部から七〇超部までの大きさと七分類に分けられ、体形・質・模様について競い合い、総合優勝は五十嵐養鯉場(虫亀)の三色が選ばれました。今年は何年にもない外国人の姿が会場のあちらこちらで見受けられ、錦鯉の国際化が急速に進んでいることが感じられました。



- ★全体総合優勝 七〇部 三色 五十嵐養鯉場(虫亀)
- ★総合優勝次席 七〇部 三色 高達養鯉場(間内平)
- ★七〇超部優勝 孔雀 五十嵐正作(虫亀)
- ★七〇部総合優勝 紅白 五十嵐正作(虫亀)
- ★六〇部総合優勝 三色 平澤 弘(虫亀)
- ★五〇部総合優勝 紅白 星野 清吉(山中)
- ★四〇部総合優勝 紅白 小川喜太郎(小松倉)
- ★三〇部総合優勝 紅白 星野 要一(竹沢)
- ★二〇部総合優勝 三色 星野 俊行(山中)
- ★一五部総合優勝 紅白 星野 俊行(山中)



生涯学習・生涯スポーツ・村民体育館コナ

九月三十日に劇団「古志」の第二回の公演が行われましたが、今年新たに入団した、三人より感想をいただきました。



佐藤 寛子さん (虫)

私は今回の劇が初舞台になりました。私の演じた村娘の役は、自分の性格とは正反対だったので、面白い体験をした気分です。劇団「古志」の良いところは、どんなにすごい失敗をしても笑いに換える明るさと、何と言っても本番に強いところではなかったかと思えます。皆さん一人ひとりの中に劇団「古志」というものがあると思いますが、私の中ではとても誇りに思えるものになりました。



星野 里織さん (竹)

私は、この「あまやち伝説」を終えての感想と言えば「楽しかった。」の一言につきまます。



佐藤 名実子さん (種李原)

劇団のみんなはともおもしろい人達ばかりで、毎週の劇団の練習が楽しみでした。練習中のはいつも笑ってばかりで、私の唯一の発散場所になっていました。(嬉しい場所だったとも...) 私はまだまだ劇団を続けていきたいです。そして、また次の劇がしたいです。

「一緒に行かない?」と同級生の舞子さんにさそわれ、それから私は劇団の練習に顔を出すようになりました。最初は内容がわからず、練習もあまり乗り気ではありませんでした。でも、回を重ねるごとにみんなと和気あいあいになって、練習がとても待ち遠しくなってきました。本番は緊張に押しつぶされそうになったけど、みんなの励ましに助けられて一番いい演技ができたと思います。本当に劇団に入って良かったです。ああ、楽しかったな!



十月二十一日(日)に村民会館と村民体育館を会場に、小学校と中学校の合同文化祭・音楽交歓会が開催されました。

今までは、小学校・中学校別々に開催をしていましたが、今年からは初めて合同で開催しました。村民会館では、絵画や工作などのいろいろな作品が展示されました。小学一年生は、「おはなし だいすき」と題して、お話「あしたまほうになあれ」を聞いて、主人公になったつもりで自分が体験したいことなどを描きました。また、六年生は、

小・中学校 合同文化祭・音楽交歓会

「板から立体へ」と題して、一枚の板からボックスや本立てなどを、楽しく使いたくなるよう



第39回音楽交歓会

作りました。中学二年生は「タッチセンサーライト」を、支柱やかさにオリジナリティを出して作りました。

午後からは音楽交歓会が行われ、児童・生徒達は、今まで練習してきた成果を大勢のお客さんの前で発表しました。

また、山古志小学校の校歌を、作詞・作曲した浅井政尾先生と、



その浅井先生の揮する新潟大学吹奏楽部の皆さんによる演奏が行われました。新大吹奏楽部の演奏に合わせての「山古志音頭」のうたと踊りは、場内が一つになって素晴らしい盛り上がりを見せました。そして、最後は小・中学校の生徒児童がいっしょに「木を植えた男」を合唱する中で、会場にきた村民を、中学生がアーチを作って見送るといふ、感動のラストでした。いくつかの課題もありましたが、とても良かったと思います。



# 秋の火災予防運動

11月9日(金)～15日(木)

## たしかめて。火を消してから次のこと

### 住宅防火 いのちを守る7つのポイント

- 3つの習慣
- 寝タバコは絶対やめる
  - ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
  - ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

- 4つの対策
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
  - 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する
  - 火災を小さいうちから消すために、住宅用消火器を備える
  - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る

今年、小千谷地域消防本部管内で発生した火災件数は、九月三十日現在、三十六件と昨年の同時期に比べて十六件増加しています、そのうち山古志村については、五件火災が発生し五件の増加となっています。

発生原因の中には「天ぷら鍋」による火災が四件含まれ、いずれも「その場を離れた」ちよつとした不注意から発生しています。

これから寒くなり暖房器具を使用することが多くなりますが、火の取り扱いについて「住宅防火、いのちを守る七つのポイント」をご覧ください、もう一度皆さん

### 【消防フェスティバル】

- 日時 11月15日(木)9時から
- 場所 小千谷市民会館 大ホール
- 内容 式典・少年消防クラブ意見発表・幼年消防クラブ遊戯・子供みこし・チビっ子放水隊など

の家庭の火の用心を再確認してみてください。

### 預金の保護の 範囲が変わります

- 万一金融機関が破たんした場合でも、預金者一人当たり、定期預金等の元本1千万円までとその利息は、来年4月以降も保護されます。
- 合算して元本1千万円までとその利息は、あくまで最低保障ですので、受け取れるのは1千万円だけではありません。
- また、当座預金・普通預金等は、平成15年3月まで全額保護されています。
- 詳細は、金融機関の窓口等にお問い合わせ下さい。

### 牛の角突き・池谷会場で正午から

快適な生活環境を保全するため、村では特定地域生活排水処理事業を平成九年度から行ってきました。

合併処理浄化槽は、台所・風呂・トイレなど暮らしの中から出る生活排水と一緒に浄化するもので、下水道と同じ性能です。この事業は村の公営企業として実施され、設置にあたっては住宅等の所有者から分担金を、設置後は村で維持管理し使用者から適正な料金を徴収することになっています。

つきましては平成十四年度の

### 合併処理浄化槽 設置希望調査

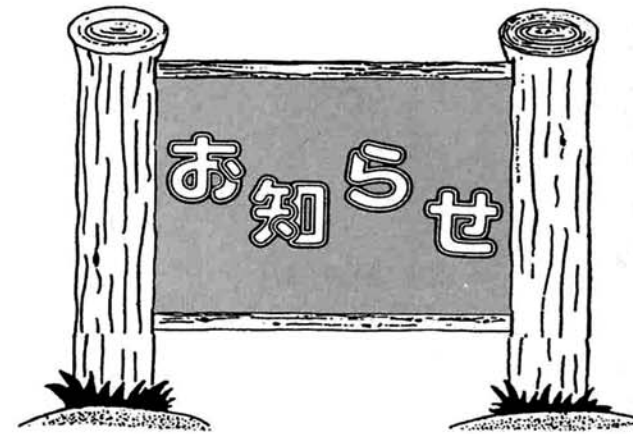
### 化学物質管理促進法 に係る事業者説明会

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTTR法)の施行により、第一種指定化学物質を取り扱っている事業者は、平成十三年四月一日から排出量及び移動量を把握することが義務付けられました。これについて、次のとおり事業者説明会を開催します。

・日時 十一月七日(水)午前  
十時から午後四時三十分

・会場 長岡市立劇場

・対象業種  
製造業(全業種)、燃料



設置調査を行いますので、設置を希望される方は 十一月二十五日 までに区長さんへ調査票を提出して下さい。

※なお、設置数は先着順に二十基とします。また、電話で直接役場・担当まで申し込みも可能です。

問い合わせ等は役場・保健福祉課(☎59-2336)までご連絡下さい。

### 老人クラブ 加入促進月間

平成十三年十一月から平成十四年一月までは、老人クラブ加入促進月間です。

今や、「人生八十年」の時代です。この長い生涯を豊かなものとして過ごすためには、まず健康が第一です。さらに、生きがいを持って過ごすことが重要で

老後を明るく、活力あるものとするために、ぜひ老人クラブに加入され生き生きと、健康に

### 小千谷西高校が 変わります!

社会生活を過ごしましょう。入会は各地区の老人クラブ会長さんまで、連絡して下さい。皆さんの入会をお待ちしています。

平成十四年度より普通科と家政科が総合学科に改組される予定です。総合学科についての話を聞いてみませんか?

多数の皆さんのお越しを、お待ちしております。

期日 十一月十七日(出)

時間 受付：午後三時より  
・説明会：午後三時三十分から五時まで

会場 小千谷西高校  
お問い合わせは、小千谷西高校(☎82-0246)担当、南雲・中村までお願いします。

### こしじの里・ しぶみ園文化祭

日時 十一月十八日(日)  
午前十時から午後二時

### 最低賃金 もちろん知ってる 知らせてる

新潟県最低賃金 (9月30日から)

日額 5,124円

1時間(時間給労働者) 641円

会場 こしじの里 (越路町不動沢)

内容 作品展・お食事・ステーション発表など

※お問い合わせはこしじの里(☎41-0801)までお願いします。